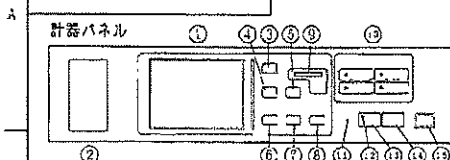


349S09265



記号	記号説明	記号	記号説明
1	LCDモニター	9	故障状態ランプ
2	電圧交換カバー	10	運転状態ランプ
3	モニタスイッチ	11	電源ランプ
4	巻戻スイッチ	12	運転ランプ
5	リセットスイッチ	13	運転スイッチ
6	巻戻スイッチ	14	巻戻スイッチ
7	電源スイッチ	15	アワーリミットスイッチ
8	巻戻スイッチ		

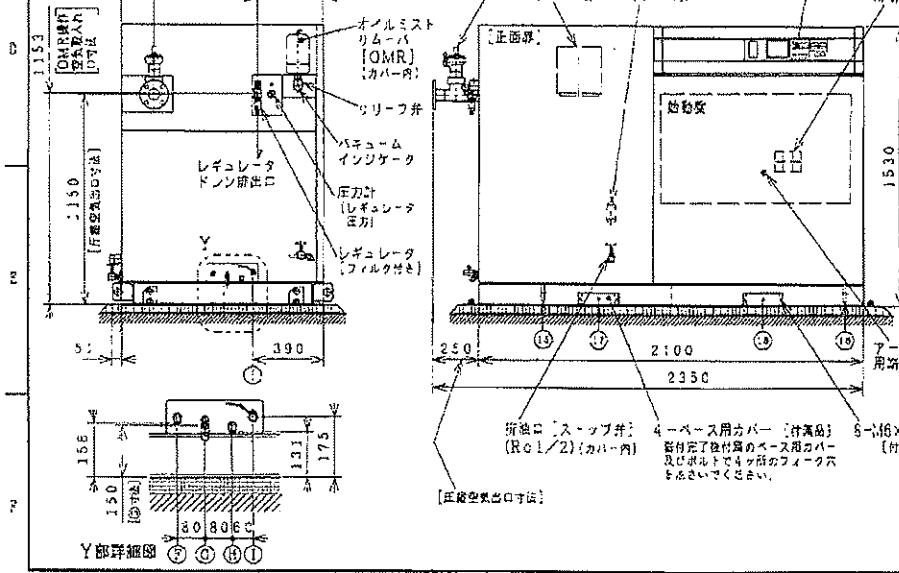
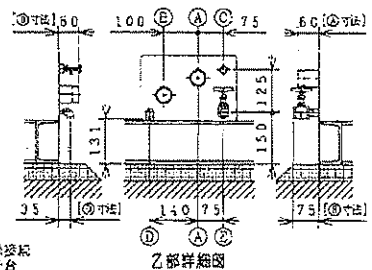
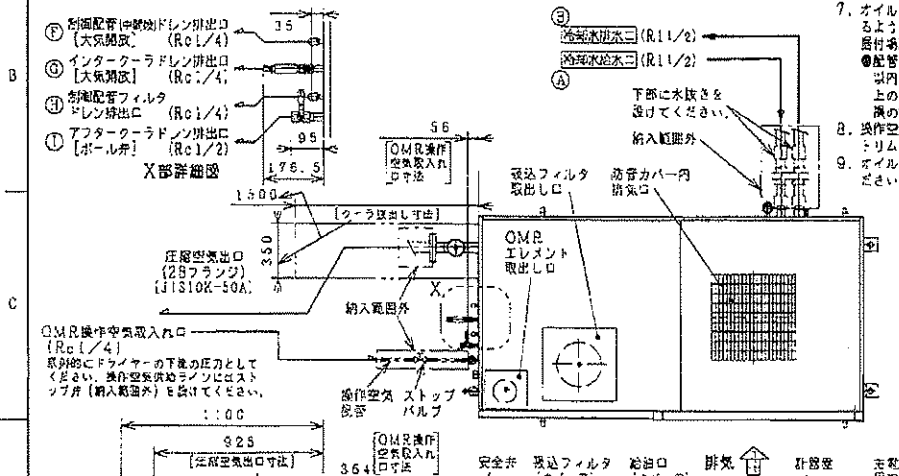
ご注意

- 圧縮機は必ず扉内に密着してください。
- 一点接続の配管等は、貴社においてご確認ください。
- 巻戻ボルト位置寸法、及び巻戻への移行時の注意事項は、別図面【巻戻ボルト位置寸法】を参照してください。
- 動作時、配管時の注意事項は、別図面【動作時及び配管時の注意】(1)、(2)を参照してください。
- クレーンによる運搬の際はベース部のフック③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿を通過してください。フックリフトによる運搬の際はベース部の穴⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿を差し込んでください。
- オイルミストリムーバへの操作圧力は、原則的にドライヤー下位の乾燥空気とし、必要に応じてレギュレータのドレンを排出してください。
- オイルミストリムーバの操作圧力として0.39MPa以上の圧力を確保できるように換作空気配管を設けてください。換作空気配管は納入範囲外です。納入範囲外にて実にてご確認してください。
- 配管サイズの目安として、元玉が0.63MPaの場合、配管径が5m以内であれば内径φ4mm以上、5~10m以内φ6mm以上、10m以上の場合は内径φ9mm以上の配管が必要。配管が狭くなる場合には圧降下の発生を行った上で配管径を換えてください。
- 換作空気配管中にはストップバルブ（納入範囲外）を設け、長期間オイルミストリムーバを使用しない場合にはバルブを閉じておいてください。
- オイルミストリムーバのレギュレータの設定圧力は左表を参照し、設定してください。

仕様表

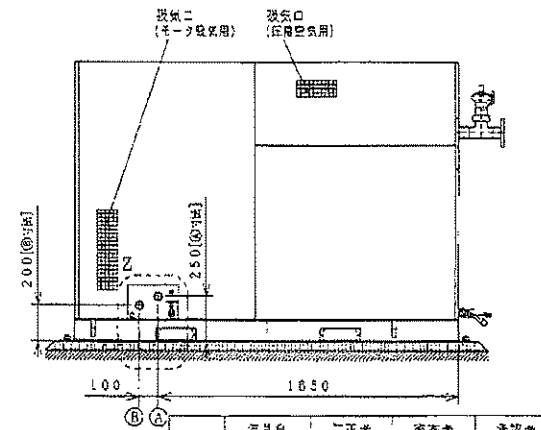
項目・単位	型式			
	DSP-75W LII	DSP-75W LII	DSP-75W MII	DSP-75W MII
吐出し圧力 (ゲージ圧力)	0.69 (0.83)			
吐出し空気量	12.8 (16.8)			
空モータ公称出力×回転数	75×2P			
圧縮機軸出力	81.0以下			
電機容量	200	200/220	400	400/440
電機容量	30	60	50	60
空回最高速	0~40			
負荷断力	0.2 (0.4)			
オイルポンプモータ出力	0.75			
油	油圧	1.23		
	粘度	72以下		
水	水圧 / 可逆	0.15~0.49 / 0.15 以上		
	圧縮機軸出力	1300		
オイルポンプモータ出力	動作方式	異型ニセクター方式		
	レギュレータ設定圧力 (ゲージ圧力)	0.30		
オイルミストリムーバ	空気流量	50		
	空気圧力	-		

- (1)内は、吐出し圧力、0.83MPa仕様を示します。
- 吐出し空気量は、吐出し圧力時に吐出し空気量を換算した値に換算した値です。
- 吐出し空気量の換算値については、別途ご契約ください。
- 使用モータ (空モータ) は、圧縮機用の空回モータです。
- 本圧縮機は乾燥空気と乾燥吸引する程度、露点の調整は必要に応じてください。
- 圧縮機は高圧空気と乾燥空気のみです。



配線接続口

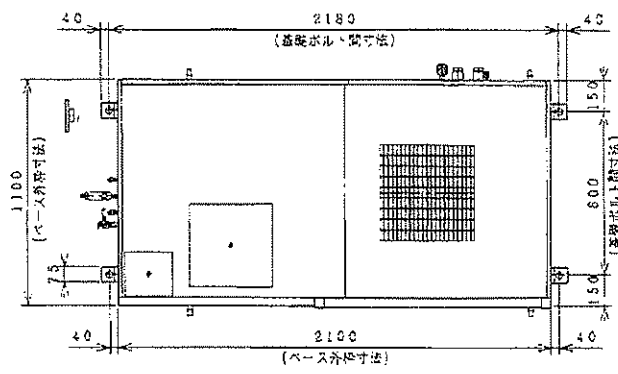
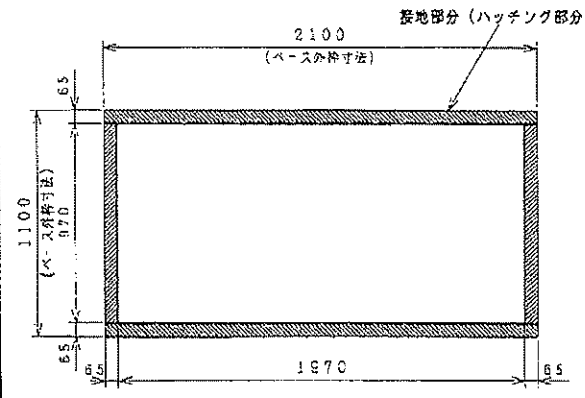
記号	記号説明
19	φ8.5穴 (左側接続口) [ゴムフック付]
20	φ9.0穴 (外部接続口) [ゴムフック付] (2ヶ所)



型式	圧縮機仕様 油圧回線装置付	型式	DSP-75W LII.75W MII 据付図 (OMR付)	比較図	尺寸	NTS
製造	マキタ、ヒ 2010-09-13	株式会社	日立産機システム	品番	349S09265	承認
審査	ササキ、マ 2010-09-13	承認	ササキ、マ 2010-09-13	承認	2010-09-15	

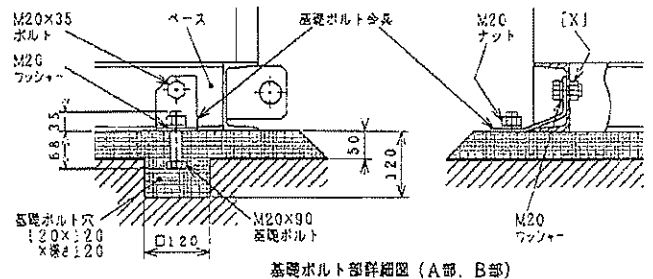
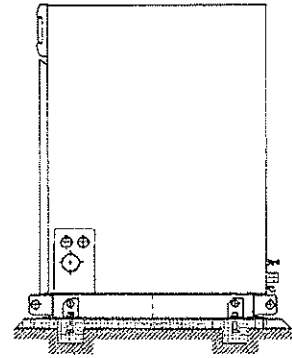
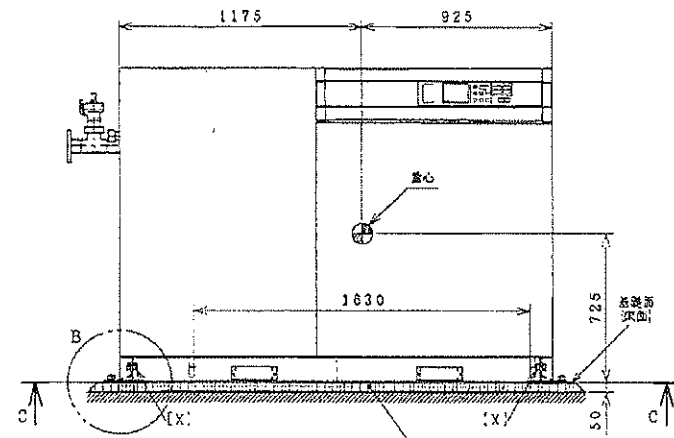
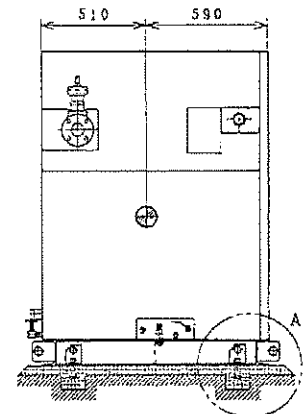
②/4

349S05713



- ご注意
1. 基礎への取り付けは、ベースに付いているM20ナット（図中〔X〕）を利用して付属のM20ボルトと基礎ボルト金具を取付け、M20×90Lの基礎ボルトで4ヶ所固定してください。（基礎ボルト標準配置参照）。M20ボルト（M20ワッシャー付）、基礎ボルトM20×90L（M20ナット付、M20ワッシャー付）、基礎ボルト金具）は付属品となっています。
 2. 地耐力が1.0N/㎡未満の地盤では、基礎部に厚さ150mmの盛出しを設け、底面荷重（全重量（本体+基礎）/基礎底面積）と地耐力の1/1.3以下にするか、または床打として地耐力を増強してください。
 3. モルタルはユニットの水平を出した後、ベース底面と基礎面（床面）が密着するように充填してください。なお、ベース底面と床面との間に隙間がありますと、三種度の振動が小さくなったり騒音値が高くなる場合がありますのでご注意ください。

ベース底面図 (C-C)



モルタルを充填してください。モルタルを充填せずに床の上に設置すると、圧縮機の振動増大とともに、騒音値が2~5dB (A) 大きくなります。

図号	年月日	訂正者	審査者	承認者
未 図				
図名	DSP-75WLE.75WMI 基礎ボルト位置詳細図		投影法	尺規
製図	マキタ、ヒ	2008-10-15	NTS	
描写	ツノ/キ、カ	2008-10-15	株式会社	
承認	ツノ/キ、カ	2008-10-15	日立産機システム	349S05713
				2008 10-15

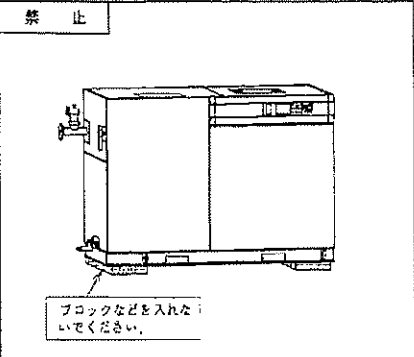
CAD

③/4

ET6E0S67E

1. 据付時のご注意

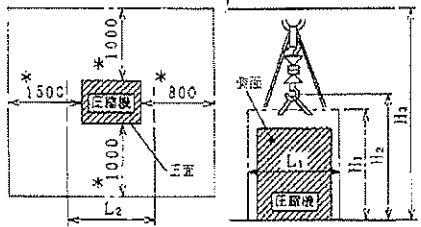
- (1) 明るく、広く、換通しのよい場所に据付けてください。
(据付場所を選ぶことが換気を持たせる第一歩です。)
- (2) 設置が低く、塵埃の少ない建屋内に据付けてください。
●雨・地下室・蒸気
……漏れ・ドレン発生・発熱・マイコンの誤動作につながります。
●鉄系・砂系の硬い異物
……モータの絶縁不良・絶縁の損傷・マイコンの誤動作につながります。
●有害ガス(塩素ガス・硫化水素ガス・アンモニアガス・亜硫酸ガスなどの有害ガス)
……筐体の劣化・各機器の内部(圧縮機本体、クーラ)外部の腐食につながります。
- (3) 水平かつ平滑な床面に据付けてください。
適正な給油量の確保、騒音・振動発生の防止。



(4) 本圧縮機は必ず室内に据付けてください。

2. 据付スペース及び圧縮機搬入・搬出に関するご注意

- (1) 日常の保守点検、オーバーホールに必要なスペースは右上図(※印寸法)をご参照ください。
- (2) 搬入、搬出に必要な最小の入口通路面積(右上図の高さH1×幅L1)を確保してください。
- (3) 圧縮機をクレーンなどで吊り上げる場合は、床から高さ(H2)が必要です。
- (4) フォークリフトで搬入、搬出を行う場合は、入口通路面積(フォークリフトの高さ×幅L2)を確保してください。
- (5) クレーンがない場合は、床から天井までの高さ(H3)として3m以上必要です。(ただし、天井から圧縮機を出し入れできる場合はこの限りではありません。)
●なお、三叉を組むか、チェーンブロックを下げる方法がありますが、チェーンブロックを下げる際には、あらかじめ天井の圧縮機中心付近に梁を設けておく必要があります。梁の径は3t以上としてください。



寸法表 (mm)

機種	寸法: L1	L2	H1	H2	H3
DSP-75WSLE, 75W6LE	1400	2600	2000	2500	3000
DSP-75WSMI, 75W6MI					

質量表 (kg)

項目	機種 DSP-75WSLE DSP-75W6LE	DSP-75WSMI DSP-75W6MI
1段圧縮機本体	80	
2段圧縮機本体	40	
ギヤケーシング	250	
アフタークーラ	90	
インタークーラ	90	
モータ	430	
総質量	1900	

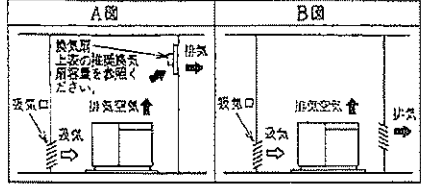
3. 建屋内の換気についてのご注意

- (1) 狭い建屋に据付けますと、室内温度が上昇します。室内温度が許容温度40℃以上になる場合は、必ず換気扇を設けて換気してください。
- (2) 換気の方法
●狭い建屋に据付ける場合は換気扇を圧縮機排気側の壁面の高所に取付け、吸気側の壁面の低い所に吸気口を設けてください。換気量は、換気容量係数の必要換気容量以上の換気を確保してください(A図)。
●広い建屋(工場)に据付ける場合は、比較的高換気量の良い場所を確保してください(B図)。

換気データ

項目・単位	機種 DSP-75WSLE DSP-75W6LE		DSP-75WSMI DSP-75W6MI	
	吐出圧力換換	kPa		0.69, 0.88
発生熱量	MJ/h		36.3 (8700)	
換気換気容量	m ³ /min		96	

●換気容量は、室内温度上昇を5℃におさえた時の必要風量で、静圧は0Pa(10mmAq)の場合です。



4. 電気配線時のご注意

●電源設備
電源トランスの容量、電源ケーブルの太さ・長さにより、起動時の電圧低下が大きくなり、モータの加速不良や、制御回路の動作低下による圧縮機停止が発生することがあります。起動時の電圧低下を定格電圧の5%以内にするため、下表に示す電源トランス・ケーブルを使用してください。なお、*印は配線長さが10m以下の値です。*0mを超えるときは、より太いケーブルが必要です。その際、中途端子等により圧縮機配線は最大値以下となるようにしてください。

項目・電圧	機種 DSP-75WSLE DSP-75W6LE		DSP-75WSMI DSP-75W6MI	
	電源電圧	200V級		400V級
電機・トランス容量 (kVA)	150以上		150以上	
電線ケーブル太さ (mm ²)	*150以上 最大150		*80以上 最大150	

●電源接続

- (1) 圧縮機内の配線はすべて完了しています。
- (2) 電源の接続は、防音カバーの分解の妨げにならないように施工してください。
- (3) 電源を接続する際は、始動盤内にあるアース端子を利用し必ずアースの接続を行ってください。なお、接地抵抗は下表に従ってください。

電源電圧	接地抵抗値	接地抵抗値
200V級	D種	100Ω以下
400V級	C種	10Ω以下

- (4) 始動盤には漏電遮断器等の回路遮断器は含まれておりませんので貴社にてご用意ください。回路遮断器には必ず漏電遮断器をご使用し、漏電遮断器(B・L・B)は下表に示す立位の適合品としてください。なお、漏電遮断器は感度電圧可変形(100mA, 200mA)とさせていただきます。B立以外の漏電遮断器を使用される場合は、選定条件が異なりますのでお問合せください。

漏電遮断器型式(日立製)

項目	機種 DSP-75WSLE DSP-75W6LE		DSP-75WSMI DSP-75W6MI	
	電源電圧	200V級		400V級
漏電遮断器型式	EX-6C08 (400A)		EX-10C6 (125A)	

5. 冷却水配管及び冷却水の水質

- (1) 冷却水配管は防音カバーの分解の妨げにならないように施工してください。
- (2) 排水口と排水口の他に、必ず水抜きを設けてください。
- (3) 冷却水配管には入口、出口に空気にバブルを取り付けてください。
- (4) 圧縮機停止時には、必ず冷却水の流速を停止してください。自動運転の場合は必ず冷却水自動弁を改造してください。
- (5) 冷却水質の悪化は三相誘起冷却回路の寿命に大きく影響します。水質基準に関しては下表をご参照ください。

冷却水の水質基準値

項目	補給水の不良基準値	冷却水の不良基準値
PH (25℃)	6.8~8.0	6.5~8.0
誘電率 (25℃) (ms/m)	30以下	30以下
塩化物イオンCl ⁻ (mgCl ⁻ /L)	50以下	200以下
硫酸イオンSO ₄ ²⁻ (mgSO ₄ ²⁻ /L)	50以下	200以下
総硬度 (pH4.8) (mgCaCO ₃ /L)	50以下	100以下
全硬度 (mgCaCO ₃ /L)	90以下	200以下
カルシウム硬度 (mgCaCO ₃ /L)	50以下	150以下
鉄Fe (mgFe ²⁺ /L)	0.3以下	1.0以下
硫化物イオンS ²⁻ (mgS ²⁻ /L)	検出しないこと	検出しないこと
アンモニウムイオンNH ₄ ⁺ (mgNH ₄ ⁺ /L)	3.1以下	1.0以下
イオン化シリカSiO ₂ (mgSiO ₂ /L)	30以下	30以下
遊離炭酸CO ₂ (mgCO ₂ /L)	4以下	4以下
硝酸イオンNO ₃ ⁻ (mgNO ₃ ⁻ /L)	0.5以下	0.5以下
有害物 (KMnO ₄ 消費量) (mg/L)	10以下	10以下
濁度 (mg/L)	10以下	10以下

(注) 1. 冷却水は一回過式、循環式とも熱交換器を通過する水と見なします。冷却水とは冷却塔に供給する水と見なします。
2. 平成規格: JRA-GU-02-1994

6. 冷却水の必要給水量と給水圧力

項目・単位	機種 DSP-75WSLE DSP-75W6LE		DSP-75WSMI DSP-75W6MI	
	許容冷却水入口温度	℃		32以下
必冷冷却水	トータル	L/min	120	
	アフタークーラ	L/min	95	
換気冷却水	オイルクーラ	L/min	25	
冷却水有効圧 (圧縮機入口、出口)	MPa	0.15以上		
冷却水入口出口温度差	℃	9		
冷却水許容水圧	MPa	0.49		

取付および配管時のご注意 (1)

型式: DSP-75WSLE, 75W6MI

株式会社 日立産機システム

349S03913

2007.1.31

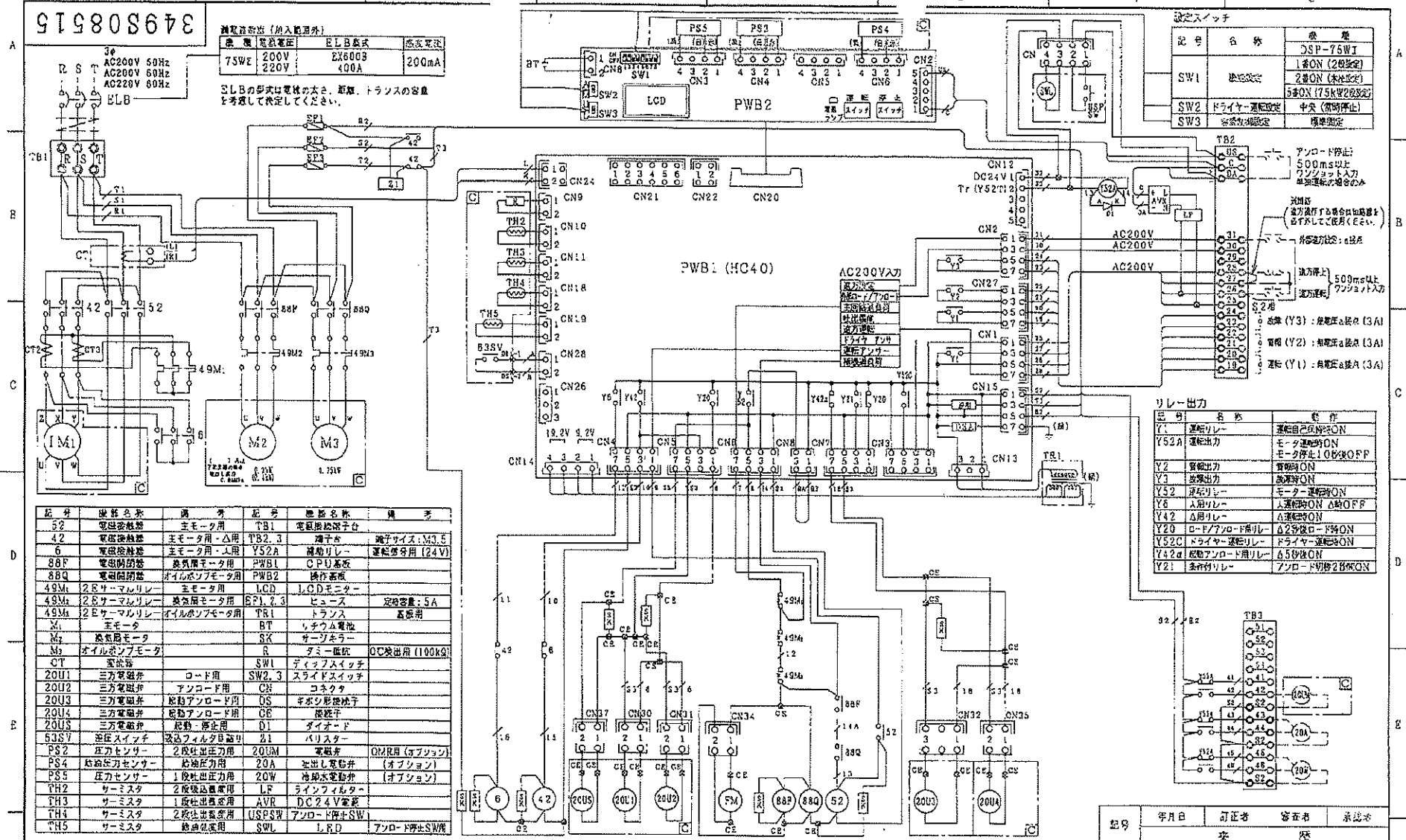
CAD

④/4

349S0851

品名	電圧	電流	ELB形式	感度電流
75WE	200V	200mA	EX6009	400A

ELBの型式は電線の太さ、距離、トランスの容量を考慮して決定してください。



記号	機器名称	備考	記号	機器名称	備考
52	電圧検知器	主モータ用	TB1	電圧検知端子台	
42	電圧検知器	主モータ用-△用	TB2, 3	端子台	端子サイズ: M3.5
6	電圧検知器	主モータ用-人用	YS2A	補助リレー	運転停止用 (24V)
88F	電圧閉鎖器	換気用モータ用	PWB1	CPU基板	
88Q	電圧閉鎖器	オイルポンプモータ用	PWB2	操作基板	
49M1	2Eサーマルリレー	主モータ用	LCD	LCDモニター	
49M2	2Eサーマルリレー	換気用モータ用	EP1, 2, 3	ヒューズ	定格容量: 5A
49M3	2Eサーマルリレー	オイルポンプモータ用	TB1	トランス	高圧用
M1	主モータ		BT	リチウム電池	
M2	換気用モータ		SK	サーボモータ	
M3	オイルポンプモータ		R	タミー監視	OC検出用 (100KΩ)
CT	変流器		SW1	ディスプレイスイッチ	
20U1	三方電磁弁	ロード用	SW2, 3	スライドスイッチ	
20U2	三方電磁弁	アンロード用	CN	コネクタ	
20U3	三方電磁弁	駆動アンロード用	US	キボツ形接点	
20U4	三方電磁弁	駆動アンロード用	CE	接点	
20U5	三方電磁弁	駆動-停止用	D1	ダイオード	
53S7	逆起スイッチ	逆起フィルタ目録	21	バリスタ	
PS2	圧力センサー	2段吐出圧力用	20UM	電磁弁	OM2用 (オプション)
PS4	圧力センサー	給油圧力用	20A	吐出し電磁弁	(オプション)
PS5	圧力センサー	1段吐出圧力用	20W	冷却水電磁弁	(オプション)
PH2	サーミスタ	2段吐出温度用	LF	ラインフィルタ	
PH3	サーミスタ	1段吐出温度用	AVR	DC24V電変	
TH4	サーミスタ	2段吐出温度用	USPSW	アンロード停止SW	
TH5	サーミスタ	給油温度用	SWL	L.R.D	アンロード停止SW

ご注意
 1. 破線で示す機器及び配線はオプションあるいは納入範囲外です。
 2. 電圧検知器の定格はAC200V3A (最大)です。
 3. 逆起操作を行う場合は、逆起の短絡線を外してください。
 逆起運転-停止の信号入力は、AC200Vです。
 各500ms以上のワンショットにて検知してください。

記号	名称	容量
DSP-75W1		
SW1	運転停止	1常ON (2線検出)
SW2	アンロード停止	2常ON (2線検出)
SW3	逆起	5常ON (2線検出)
SW4	ドライバ-運転停止	中央 (常時停止)
SW5	逆起	容量が不明

記号	名称	容量
Y1	運転リレー	運転自己保持ON
Y2	運転出力	モータ運転ON
Y3	運転出力	モータ停止10秒OFF
Y4	運転出力	高圧ON
Y5	運転リレー	モータ-運転ON
Y6	運転リレー	人差検出時ON Δ時OFF
Y7	運転リレー	Δ運転ON
Y8	運転リレー	Δ2秒OFF-Δ時ON
Y9	運転リレー	ドライバ-運転ON
Y10	運転リレー	Δ5秒OFF
Y11	運転リレー	アンロード切替2秒ON

記号	名称	動作
Y1	運転リレー	運転自己保持ON
Y2	運転出力	モータ運転ON
Y3	運転出力	モータ停止10秒OFF
Y4	運転出力	高圧ON
Y5	運転リレー	モータ-運転ON
Y6	運転リレー	人差検出時ON Δ時OFF
Y7	運転リレー	Δ運転ON
Y8	運転リレー	Δ2秒OFF-Δ時ON
Y9	運転リレー	ドライバ-運転ON
Y10	運転リレー	Δ5秒OFF
Y11	運転リレー	アンロード切替2秒ON

記号	年月日	訂正者	審査者	承認者
----	-----	-----	-----	-----

機種	DSP-75W1	図形法	尺取
図名	配線接続図 (200/220V仕様)	NTS	
製図	マキタ, ヒ	2010-05-27	
審査	ササキ, マ	2010-05-27	
承認	ササキ, マ	2010-05-27	
製図	マキタ, ヒ	2010-05-27	
審査	ササキ, マ	2010-05-27	
承認	ササキ, マ	2010-05-27	
製図	マキタ, ヒ	2010-05-27	
審査	ササキ, マ	2010-05-27	
承認	ササキ, マ	2010-05-27	

株式会社 日立産機システム
 349S08515
 2010 01-21